

新年のお慶びを申し上げます。

本年も昨年同様、ご指導ご鞭撻の程
よろしく申し上げます。
皆さまのご多幸をお祈りします。

内 容

- 令和元年満足度調査アンケート報告
- フラダンスショーを開催しました
- 岡山マラソン2019に参加しました

病院の理念

患者様が安心して
医療を受ける ことができる
やさしい 病院を目指します。

基本方針

- 患者様の人間としての尊厳、人権、プライバシーを守り、快適な療養環境を提供します。
- 専門職としての自覚を持ち、常に最良の医療を提供できるように技術や知識の習得に努めます。
- チーム医療の推進により医療の質の向上を目指します

患者様の権利

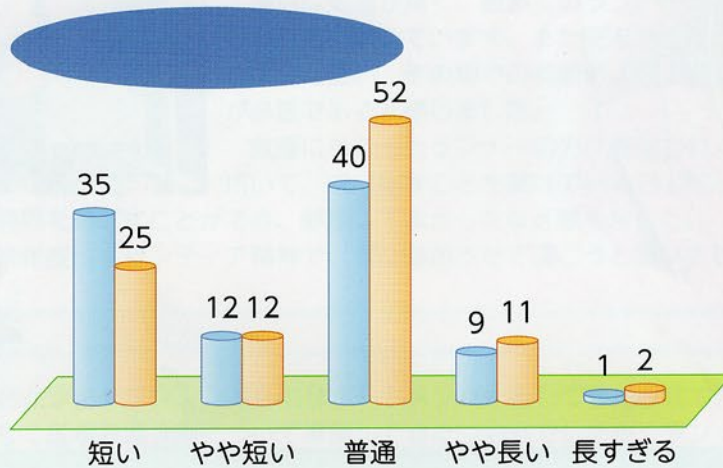
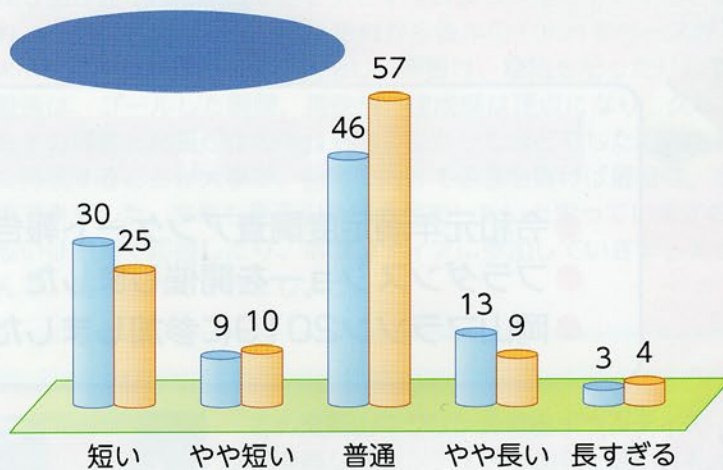
- ① 患者様には常に1人の人間として人格を尊重され医療提供者と協力関係を築きよりよい医療を受ける権利があります。(パートナーシップ)
- ② 患者様には安心、安全な医療を公平に受ける権利があります。
- ③ 患者様には原則自分の医療を決定する権利があります。
- ④ 患者様には医療の内容、治療方針、検査内容、危険性などについてわかりやすい言葉で説明を受ける権利があり、且つ他の医師に意見を求める権利があります。(セカンドオピニオン)
- ⑤ 患者様には不当に抑制されたり苦痛を与えられたりすることなく病状等に応じて専門的な対応と援助を受ける権利があります。
- ⑥ 患者様には原則プライバシーを侵害されない権利があります。
- ⑦ 患者様にはご自分の診療録の開示を求める権利があります。

令和元年満足度調査アンケート報告

昨年実施しました満足度調査アンケートへのご協力ありがとうございました。

今回は、外来の患者様には待ち時間について、病棟の患者様には病院の印象についてアンケートに答えていただきました。アンケートの一部をご紹介します。

外来待ち時間について(外来)



■ 平成30年 ■ 令和元年

良い点

- 親身に話を聞いてくれて安心できる。
- 明るく笑顔で親切。
- 不安な時に詳しく説明してもらえて頼りになった。

改善点

- 不安があるのでもう少し詳しく説明してほしい。
医師に伝え詳しい説明をして頂けるように依頼します。
- 2回目の外来通院システムが分からなかった。
書面でわかりやすくご説明できるように改善していきます。
- MRIの音楽が気になる。
曲数を増やし、更衣室に掲示して患者様に選んでいただけるようにしました。

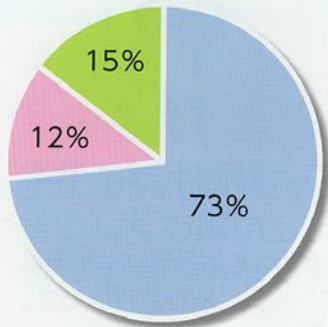
外来の待ち時間は9割の方が「短い」から「普通」と感じておられます。

前回と比較して改善していましたが、約1割の方が長いと感じておられるので今後もスムーズな対応ができるように更に努力します。

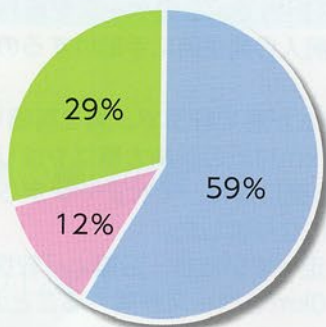
また、丁寧に説明出来る職員もいれば、説明不足の職員もあり、統一した対応が出来るように精進していきます。

病院の印象について(病棟)

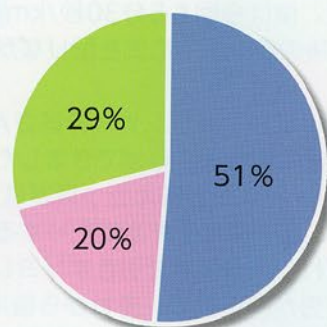
衛生面について



環境設備について



プライバシーの配慮について



■ 良い
■ やや良い
■ 普通

良い点

- 丁寧に説明してくださいました。
- 優しくしっかり声をかけてくださいました。
- 食事はおいしいです。
- 笑顔や言葉使いも良かった。

改善点

- 薬名の横に効能書きがほしい。
- 請求書の明細、配列が分かりにくい。
分かりにくいこと、不明な点等のご説明いたしますので遠慮なく職員に声をおかけください。
- 病室カーテンを何の前触れもなく開けられ、ちょっとびっくりした
申し訳ございません。声かけを徹底し、気を付けて開けるように心がけます。

病棟の印象については「悪い」と答えられた方はおられませんでしたが、いただいたご意見を参考に、より良い医療の提供と療養環境の改善に努めていきます。

お知らせ

平成31年10月27日(日)フラダンスショーが開催されました。

10月27日(日)地域ふれあい委員主催のフラダンスショーが行われました。ハワイアン音楽に合わせて優雅にフラを踊る姿、とても素敵でした。美しい動きの踊りや笑顔を見ることで、雄大な自然のハワイ風景が思い浮かび、皆さんの心が穏やかな気持ちで満たされたと思います。



病院スタッフもレイを身に付けて会場を盛り上げました。



地域ふれあい委員会より

おかやまマラソン連続5大会出場 ドクターランナー

昨年秋晴れの好天気の中、5回目おかやまマラソンにドクターランナーとして参加しました。僕は今回も5分30秒/kmペース担当で、このペースを維持しながら走り、前後のランナーに気を配りながら急病人の発生時に手助けするのが役割です。

絶好の天気でしたから、ランナーの皆さんは誰もが意気軒昂で、胸を高鳴り、身を躍らせて非常に爽快な走りができました。31km付近の岡南大橋はやはり最大の関門で、30メートルも聳え立つ坂道は大きな壁になり、それまで快走してきたランナーの多くはここで立ち止まったり、腰や膝に手を当てたりするようになりました。

僕も鉛が注がれたような足を引きずりヨレヨレ走っていたら、沿道より救援物資のエネルギーゼリーを手に入れ、一気に疲労が回復して、それから後半の10kmをペースが落ちることがなく、一気に駆け抜けました。35km付近から筋肉の痙攣が続出し、声掛け、塩飴を配ったりして対応し、大きな問題に至りませんでした。

最後は、ゴールした瞬間、爽快感、達成感は頂点になり、久しぶりの4時間突破もあり、それから1週間近くもその興奮と高揚が体の中から消えなかったほどでした。人生もマラソンのようなもの、何事もコンスタントに持続することが大事で、目標に向けて信念を貫けば最後は、きっと楽しい結果が待っているということも実感できました。来年も是非引き続き参加したいと思っていますので、興味がある方は、ぜひ一緒に走ったり、あるいは沿道で応援したり、ボランティアに参加していきましょう。みんなで一緒に岡山のスポーツ祭りを楽しんで、盛り上げていきましょう。

内科医 庄島蘇音



この度岡山マラソンの救護ボランティア（37キロ地点）に参加させて頂きました。他の崇高なボランティア参加者と違い、私は「自分の治療技術が、実際のスポーツ現場で効果があるのか、通用するのか」といった動機での参加でした・・・。

当日は気温が高く、数多くのランナーが不調を訴え各ポイントにある救護所で処置が行われたと聞いています。また完走できなかった方も多かったそうです。

病院と違い、その場での判断および、完走させる為に短時間で改善させる自身の技術が必要であると感じました。

救護にあたったランナーの方に感謝され「ありがとう、また走れそうです」の一言を頂いて、送り出すことを続けていると、忙しい時もありましたが、非常に楽しく有意義に時間を過ごすことができ、参加してよかったなと感じました。

来年度はボランティア精神で、ぜひ参加させて頂こうと思いました。

理学療法士 川山 健

おかやまマラソン2019にサポートメンバーとして参加させて頂きました。事前に説明会や講習会などに参加して医事救護体制について準備してきたつもりでしたが、ランナーからの要望は多種多様で現場での応急処置は想像を超えるものでした。

理学療法士として救護所での対応はストレッチやテーピングの施行でした。ランナーは少しでも良いタイムで完走を目指しているので臨機応変で柔軟な対応が求められます。

救護所利用のランナーが増えるのはレース後半、足を引きずりながら救護所へ入ってくるランナー、再び走れる身体にコンディションを整えコースへ送り出し「ありがとう」という言葉を頂いたときはとても感動しました。

マラソンは様々な地域から幅広い年代のランナーがそれぞれの想いを胸に参加されています。理学療法士としておかやまマラソン参加者へ「おもてなし」する活動に参加できた事を誇りに思います。

活動後にはサポートメンバーにも備前焼メダルが配られました。今年のメダルは岡山を代表する特産品の「桃」をモチーフに作成されています。

おかやまマラソン翌11日のOHKニュースに活動の様子が映ったようです。私たちの勇姿を見たという方は是非とも声をかけて下さい。

理学療法士 平野 雄一

